自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

【令和７年度評価】
法人名：(有)アロー商事
事業所名（事業所番号）：グループホーム我が家（0770403327）
所在地：いわき市平字橋下１番地
代表者：　鈴木　英満
管理者：　鈴木　英満
運営推進会議を活用した事業所の評価日：令和８年３月17日
出席者：包括支援センター担当者様　・平第一区区長　大谷様　・介護相談員　阿部様
グループホーム トモハウス管理者　柳内様・介護の森きたしらと 管理者　長谷川様
利用者家族様・地域代表　伊藤様・グループホーム我が家、我が家好間管理者　鈴木

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「想いに寄り添う」は職員全員で考えた理念であり、目に触れる場所に掲示して、常に理念の共有確認をしている。「利用者にとって、あたりまえの生活の実現」を目指して、日々のケアに反映できるように努めている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症高齢者向けのスローショッピングへの参加協力や、昌平高校からの介護実習の受け入れ・地域行事等(地区祭り・地区消掃)への参加など、出来ることは積極的に受けている	・家族会が再び開催されるようになった ・地域行事などに以前のように参加出来てきている。 ・繋がりを継続していると思う。 ・市外の方もここでの生活や地域交流し楽しく暮らしていけるようにしていってほしい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	概ね２ヵ月に１回実施し、サービス目標の進捗状況(取り組み内容・行事・事故・外出)、現況を報告し、意見交換の機会を持っている。	・稼働率や日々の状況など毎月報告しており、十分に出来ていると思う ・他施設の運営推進会議の様子を知りたい。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議・中地域ケア会議での関わりや生活保護・成年後見制度等の利用者の受け入れを行う上で、行政との顔の見える関係を築けるよう意見交換の機会を持っている。	介護報酬や運営上の疑問点など日常的な相談や意見交換ができる関係性ができています。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の会議開催時に行う身体拘束適正化委員会では、指針等に基づいて支援策の検討を行い、その内容を記録している。併せて、禁止行為の内容や対応方法を定期的に全職員で学んでいる。具体的事例についてはユニット単位で検討し、突然外出したがる利用者への対応や見守り等の工夫を行っている。		(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A(2) B(7) C(0) D(0) ・面会時の玄関の施錠等の確認や、適切なケアに取り組んでいることを、職員へのヒアリングにより確認した。

							・安全上やむを得ない場合の拘束については必ず連絡を受けている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束の研修と並行して虐待について学ぶ機会を作っている。又、また積極的に外部研修に参加し、虐待についての理解を深め、防止に努めている。参加職員は、それをもとに事業所内で勉強会を実施、虐待防止に努めている。また虐待の目チェックリスト等の結果を事業所内で共有し注意発起に努めている。	身体拘束に当てはまる内容や身体拘束の実施条件など、身体拘束に関する指針をもとに、身体拘束が虐待にもなってしまうことを、ご家族様等にも理解を深めていただく。	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A(2) B(6) C(0)D(0)？(1) ・面会時に拘束や虐待等の状況を目にしたことがない ・虐待防止に努めていることをホーム長からの説明や職員へのヒアリングで確認した
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見人制度を利用されている利用者がおられ、職員は対応しながら理解を深め支援している。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約の際には、充分説明を行っている。利用者様やご家族様に、不安や疑問な点があれば、その都度説明し、理解・納得しけるよう努めている			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者に関しては、日常会話や言葉を聴いて反映するようにしている。ご家族に関しては行事制限しているので、紙面での「毎月のたより」をLINEに変更し、動画や写真添付で送付し、現在のご様子をお知らせすることで安心感を持ってもらい、意見を聴くようにして運営に反映させている。		A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A(1) B(8) C(0) D(0) ・LINEにより家族との連携し、いつでも意思疎通できる仕組みがあることを確認した。 ・家族が要望・伝言を話す時、職員は必ずメモを取り管理者まで伝わっていることを確認
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者である管理者が職員の意見を聞き取り、出来る限り検討・反映させている。全体会議・ユニット会議・個別面談等で聞き取るようにしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護福祉士などの資格取得による評価を行い、給与に反映させている。代表者は管理者を兼務し勤務状況等の把握を行っている。就業環境の整備についてもその都度、意見交換し改善に努めている。		A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A(1) B(7) C(0)D(0)？(1) ・施設内の明るく和やかな雰囲気を感じることで確認できる ・就業について職員にヒアリングして確認した
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年間研修計画を立て毎月の会議等で知識や技術の向上に向けた研修はするが、外部研修には参加する機会が少ない。	事業所内外に問わず参加している。今期からはeラーニングも導入している。	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A(1) B(8) C(0) D(0) ・職員同士の雰囲気と利用者への対応や職員へのヒアリングで確認した。 ・実施について運営推進会議において状況が報告されている。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホーム協議会へ加盟して交流に努めている。県グループホーム協議会主催の研修や管理者会議に参加し、情報交換に努め、サービスの向上に活かしている。MCSネットワークを活用して、メールで市内のグループホーム管理者の意見交換等できるシステムに参加している。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来るだけ自立した生活をして頂けるよう、見守りを行い、本人の能力・特性に合わせた役割を作っている。出来ない利用者様とは、職員と一緒にして頂きながら、暮らしを共にする関係づくりを築いている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	分離型の面会室を設置し、感染症が発生していても、面会制限なく対応している。また、外食機会やお葬式・墓参りなど家族等なじみの関係が途切れないよう支援している。	全員ではありませんが、外食機会やお葬式・墓参りなど家族等なじみの関係が途切れないよう支援している。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時にご本人やご家族の意向を確認し、希望に沿った支援に努める。意思疎通が困難な方は、出来るだけ、本人の意向に沿うように努めている。「その人らしさ」を実現するため、気付いたことを「センター方式」に記録し、全体会議や個別カンファレンスで共有を図っている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族の意向確認、介助者から見た生活の様子、主治医や訪問看護師からのアドバイスなどを取り入れながら、プラン作成するよう心掛けている。	本人や家族の意向確認、介助者から見た生活の様子、主治医や訪問看護師からのアドバイスなどを取り入れながら、プラン作成するよう心掛けている。	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A(0) B(9) C(0) D(0) ・利用者の落ち着いた感じの状況により確認。・面会時に日々の様子や説明がある。 ・介護支援専門員は利用者に合った安心できる支援ができるように取り組んでいる。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の生活の様子や行動を記録、記録はタブレット端末で行なっている。食事の摂取状況や排泄状況、バイタル、睡眠の状況など随時、個別情報を確認し、介護計画の見直しに活かしている。		A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A(0) B(9) C(0) D(0) ・介護記録と職員間の情報共有については職員へのヒアリングにより確認 ・利用者の身体的・精神的状況により確認できる
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医への受診の支援等、状況に応じ臨機応変な対応を心がけている。また、共用型の通所介護や緊急ショートステイなど緊急の受け入れ等も行っている。	j 入居時に即入居でなく、共用型の通所介護やショートステイなどの受け入れ等も行って入居がスムーズにできるよう支援している。		

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行きつけの理美容に通ったり、買い物、通院や家族との外出、地域イベントへの参加や清掃活動など、本人の喜びや活気につながることへ積極的に参加できるよう支援している。	本人の能力に合わせて、ご家族と協力しながら支援している。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	提携医療機関受診の際には、「生活状況情報」の説明を行っている。それ以外の希望する、かかりつけ医の受診について、ご家族が付き添い出来ない時には、職員が付き添いを行っている。受診後は、医療機関、家族、事業所で情報を共有している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時には利用者様情報を送付し連携に努めている。退院時にはカンファレンスを行い、退院後の注意点等の共有に努めている。		A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A(0) B(9) C(0) D(0) ・病院との協働については、利用者の定期的な主治医診察状況や職員ヒアリング等により確認した。 ・運営推進会議で入退居状況を説明されている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時に重度化した場合や急変時の対応について、ご家族や本人の意思を聞き取りしている。希望に沿った支援ができるよう重度化等への対応については、入居時に、事業所として出来る事を詳しく説明している。希望に変化があった場合には、医師・家族・事業所で早期に話し合い、方針を繰り返し検討し、情報共有しながら適切に対応している。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A(4) B(5) C(0) D(0) ・家族の要望をしっかり聞いてくれ、迷いがある時には、相談できます。利用者様の重度化や終末期には職員は良く対応している。 ・家族への入居時説明および入居後も家族会で説明されている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	消防署で実施している心肺蘇生法、AEDの使用方法などの 研修へ参加し実践力を身に付けている。急変時に備えマニュアルも作成し、活用している			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	災害対応マニュアル(BCP)を作成し、消防署員立会いの下、定期的に防災訓練を実施している。	年２回の消防訓練、水害時を想定した移動訓練等を実施する内容等を説明する。災害発生時の協力体制についても確認する。	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A(1) B(7) C(0)D(0)？(1) ・職員へのヒアリングや家族会等での報告により確認できている。 ・今後いろいろな人たちに協力してもらい、消防訓練を行われたら良い。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全体会議等で確認を行いながら、プライバシーを損ねない対応を行っている。理念の「想い」を大切にして、支援している。接遇研修など、言葉遣いや排泄支援時の対応についての振り返り行い、適宜対応している。		A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A(1) B(8) C(0) D(0) ・面会や催事等で施設訪問時に確認できている。

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本的な一日の流れはあるが、個々の生活リズムを大切にしている。起床や就寝、入浴、食事の時間やペースも異なる為個々に合わせての支援をしている			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所内で調理し、その人に合った量や、形態で提供を行い、好みにより調味料を準備している。また、誕生会ケーキをみんなで手作りし、イベント時には、おはぎやホットケーキ作りをする等、食べる楽しみの機会を創出している。		A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A(2) B(7) C(0) D(0) ・LINE で送られてくる写真や動画など行事企画等の内容を拝見していると、十分できていると思う。 ・利用者による食事に関する話題やおやつ等の購入履歴により確認できている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量・水分量を記録し、全体の摂取量が低下してきたときには主治医と相談し補食の提供などを検討している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床時、毎食後に一人一人の能力に応じて支援・介助し口腔内の清潔保持に努めている。		(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A(3) B(6) C(0) D(0) ・口腔ケアは難しいと思うが、状態に合わせて対応してもらっている。本人の口腔内の状況より確認できている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チェック表で一人一人の排泄パターンを職員間で共有して、個々に応じてトイレやポータブルトイレへの誘導を行っている。また、利用者の表情や仕草から読み取り、適時声掛けと誘導によって、トイレで排泄できるように支援している。また、パットの調整や便座への移動でおむつを減らす工夫や排泄の自立支援に向け取り組んでいる。		(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A(3) B(6) C(0) D(0) ・トイレでの排泄は個々のレベルに合わせた対応をしてくださっている。 ・おむつ使用が増えてきているようだが、適宜トイレの声かけもしていただいている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴を楽しんで頂ける様、コミュニケーションをとり、温度など気持ちの良い入浴時間になる様支援している。利用者の希望を踏まえて入浴を促し、入浴を好まない利用者に対しては、声掛けを工夫して支援している。利用者の身体状況に合わせて機械浴や二人介助で行うなど、安全・安心な入浴提供ができている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人が自由に休息を取って頂いている。冷暖房や加湿器、好みに合わせて湯たんぽや電気敷布なども使用し、気持ちよく休んで頂けるよう支援している。			

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬は三重四重のチェックを行っている。薬の処方に変化があったときは、職員間で症状の変化に気を配り、必要時は主治医に報告し、指示を頂いている。		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A(1) B(8) C(0) D(0) ・お薬手帳により残薬の確認、および職員ヒアリングにより確認できた ・服薬は間違いがないようにチェックを行い対応されている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家事作業や創作活動等は最後までできなくても、出来る限り参加して頂き、ゆっくりと時間をかけて楽しみながら気分転換出来る様支援している。	食器洗い・拭き、選択畳みやテーブル拭き、掃除など、本人の能力を活かした役割をスタッフと一緒に行っています。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩や買い物など日常的な外出に力を入れている。また、ご家族様との外出や外食なども協力いただきながら実施している。	散歩や買い物など日常的な外出に力を入れている。また、ご家族様との外出や外食なども協力いただきながら実施している。		散歩・外気浴には特に力を入れていて、ほぼ毎日外に出る機会を作って出て下さっている。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族から預り金を一人一人預っており、いつでも使える様に支援している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族や大切な人に本人自ら電話したり、オンライン面会や手紙のやり取りが出来る様に支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節感を取り入れた飾りつけや、思い出の写真などを飾って居心地の良い空間づくりに努めている。		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A(2) B(7) C(0) D(0) ・共有空間には危険物がなく、清潔で安心感のあることを、目視で確認した。 ・写真などたくさん貼ってあり、いろいろな表情もわかる。日常生活の中で、できることは色々させてもらっている。
Ⅳ. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントシート・センター方式を作成し、日常的な会話の中でどのように暮らしていきたいか聞き取り、本人が望むことを自己決定できるよう支援している。			利用者の表情からホームでの暮らしが楽しく、張り合いのあるものとなっているように感じるので、十分できていると思う。

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や暮らしの習慣はご本人やご家族等関係者へ聞き取りしている。日常の関係が断たれないように電話のやりとりや面会、外出は継続をしており、様々な情報を得てケアに生かしている			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療機関と連携して訪問診療・訪問看護等を行っている。緊急時の対応についても情報共有し連携している。		A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A(0) B(9) C(0) D(0) ・本人の健康状態や職員へのヒアリングおよび通院・投薬等の履歴により確認した。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一日の日課はあるが、それぞれの能力に合わせて、それぞれのペースで過ごされている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の居室に使っていたタンス・仏壇や位牌・家族との写真等を持ち込んで頂き、なじみの物や大切な物に囲まれながら生活できるようにしている		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A(4) B(5) C(0) D(0) ・入居者の部屋を目視で確認した。 ・本人の居室状況より確認できた。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関は施錠されておらず、いつでも自由に外に出かけることが出来る。ご家族へも協力依頼し、散歩や外出をしている。	地域催事の参加も地域と連携して行っている。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月レクリエーションの提供や毎日役割の提供をしている。また個々の「できる・できない」を把握し無理が無いように声掛け、一緒に行うようにしている。家事等が出来なくても、実践する満足感が得られるように個々の能力に合わせた作業等を創出するよう支援している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人の想いを大切に、単調な一日とならないよう、笑顔で楽しい日々が送れるような関係づくりを大切に支援している。何気ないお話の中で聞けた会話の内容を介護記録やセンター方式など使用し記録に残すようにしている。		A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A(1) B(7) C(0)D(0)？(1) ・不満や不安を感じている利用者様はいないと感じています。 ・本人の笑顔や送られてくる写真などから確認できる。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム前が遊歩道になっているので、散歩される方が多く、外気浴中などに地域の方々と交流されることが多いです。また、隣組のイベント(お祭り・カラオケ会)などに参加させてもらっている。			

49	総合	本人は、このGHにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	皆さんの表情や過ごし方から安心して自分らしく生活されていると感じている。今後もその実現に向けて取り組んでいきたい。ゆとりのあるケアを実践するためにも業務の改善、ICT化などの取り組みにも努めていきたいと思います。	ホーム単体だけでなく家族・地域等の協力や理解が得られてはじめて、より良い環境を生み出すことが出来る。今後も協力しあって支援していきたい。	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A(7) B(2) C(0) D(0) ・入居前より、本人にとって穏やかで、良い刺激があり、いきいきした生活が送れていると感じています。 ・ケアマネージャーが「温かい施設だから」と強く推してくれたのが、我が家でした。入居してみて、そのように実感しています

事業所名　グループホーム我が家

作成日：令和　8年　3月　17　日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	年2回の避難訓練と、年1回以上の災害BCP研修以外で、より具体的に、研修をアップデートさせる必要がある。	施設内での業務継続の為の具体的な訓練の実施。	被災を想定しての対応体制のシュミレーション訓練および備蓄品についての情報共有を、定期的に会議で検討していく。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。